

ファイト

No-17

岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)

発行者: 岩井 淑

住所: 〒262-0032

千葉市花見川区幕張町4-2 LM3-104

連絡先: Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825

URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~ku-chan/index.htm>

Mail: iwai-8man@muse.ocn.ne.jp

1月21日 後楽園ホール 8ラウンド判定勝ち!

1月21日、後楽園ホールの『東日本大震災チャリティ Dynamic Young Fight Boxing』のセミファイナルに青コーナーから登場した大は闘う気迫が漲っていた。

対戦相手は、藤沢一成選手(35歳、レオパード玉熊ジム:21戦9勝2KO8敗4分)である。藤沢選手も前戦の阿部選手と同様に頭から入ってくる選手で負傷判定が多いため、大は十分注意して戦ったのだが早くも1ラウンドからバッティングが発生した。

試合展開は、藤沢選手が頭を下げながら出てくるため、どうしてもバッティングが多くなり、自分で頭をぶつけておきながら大が悪いとアピールしながら闘う老巧なテクニシャンに対して、何ら動じることなく打撃戦を展開し力でねじふせた形の勝利だった。これは前回の阿部選手との戦いでバッティングを嫌い攻撃が消極的になったことに対する反省点を克服した結果でもあった。

1ラウンドはお互いが様子を見ていたものの、2ラウンドからは大は左ジャブから攻撃を組立て、右ストレートや左ボディが決まりだし藤沢選手のスタミナが徐々に消耗していくのが分かった。藤沢選手は4ラウンドには鼻血を出し始め息をするのも苦しい状態に追い込まれていった。リングサイドエプロン下のカメラマン席で写真を撮っている私にも飛び散った鼻血がかかった。

パンチ力の差がラウンドを重ねるほどに現われ、たとえ相打ちになってもダメージは藤沢選手に多く残り、後半7ラウンド、8ラウンドは極度に疲労困憊している状態だった。8ラウンド終了後の3人のジャッジの判定結果は3:0(79:74、78:75、77:76)で大の判定勝ちであった。

今回、大は判定勝利で勝ったとはいえ反省点は残る。それはもっともっと左ジャブを出すことだ。また、詰めも甘い。藤沢選手は確かに打たれ強くタフな選手であったが、後半ラウンドでキッチリ決着をつける決め手が必要だと思う。



7ラウンド、防戦一方の藤沢選手

これで大の戦績は14戦10勝5KO3敗1分けとなった。大にとって今年は日本ランカーに復帰しタイトルマッチの足がかりにする年と位置づけているので良いスタートが切れたと思う。

2013.1.21.後楽園ホール



4ラウンド 大の右ストレートが藤沢選手の顔面にヒット



8ラウンド、大の左ストレートが顔面に炸裂



応援



【声援1】 S・Yさん

大君、勝利、本当におめでとうございます。

幸先の良いスタートで、一試合一試合を大切に、歩んでいってほしいと思います。

【声援2】 K・Aさん

大ちゃん頑張ったね。一戦一戦うまくなっていくのがよくわかりました。

良い写真、ありがとうございます。気のあった仲間と、久しぶりに飲んだお酒が美味しかったです。

【声援3】 O・Kさん

大君の勝利おめでとうございます。更に上を目指す大君にとって先ずはワンステップクリアというところでしょう。ここ2戦の相手はベテラン...若し大君にとっては遣り辛い相手だったと思います。会長が大君の将来を見据えて経験を積ませているように思います。期待に応じて更に飛躍することを祈念しています。エイトマンのマーチを轟かせましょう! 次の試合も楽しみにしています。Go! Go! 大君!

おやじのひとこと

大、リングサイドで写真撮影をされていて久しぶりに身体が熱くなる戦いを展開していたよ。左眼は14針縫う傷だったが流血をもろともせず戦う姿は素晴らしかった。試合ごとに次に克服すべき点が現れるが進化する過程は常に問題点の克服だからね。